

農林業は多様な自然環境の中で作業を行います。今回は、野山で活動するとき気をつけてほしい危険とその対策方法について紹介します。



ハチ刺されに注意!

ハチの仲間は、夏から秋にかけて活発になります。アシナガバチなど刺すハチは数種いますが、特にスズメバチは攻撃性も高く注意が必要です。

ハチに刺されると強い痛みや炎症が起こるだけでなく、過去にハチに刺された経験のある人やアレルギー体質の人は、アナフィラキシーショックを起こすことがあり、呼吸困難や最悪の場合、死に至るおそれもあるので、非常に危険です。特にあらかじめハチアレルギー検査又は診察を受け、重篤なアレルギー反応を起こす恐れがあるとわかっている人が、ハチ刺されの恐れのある場所で作業をする場合は、アドレナリンの自己注射器を携行するなどの対策が必要です。

〈ハチ刺されを未然に防ぐために〉

- 巣に近寄らない、巣の近くで作業をしない、巣に振動などの刺激を与えない
- 殺虫スプレーを携行する
- 長袖長ズボン、帽子などで肌の露出を減らす、攻撃されやすい黒っぽい服は避ける



マダニに注意!

マダニは草むらや木の葉の上に生息し、春から秋にかけて活発になります。動物や人に寄生し、長時間吸血をしますが、咬まれたことに気づかない場合も多いと言われています。

マダニが媒介する感染症もあり、まずは咬まれないことが大切です。

ダニに咬まれないためのポイント!

- 肌の露出を少なくする
⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒サンダル等は避ける
- 明るい色の服を着る (マダニを目視で確認しやすくするため)
 - * 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
 - * 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう
 - 特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などに注意



- マダニから身を守るために
 - ・上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにする。
 - ・野外活動後はシャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェック。
 - ・ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的。



ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

- ①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症 厚生労働省

※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。



出典：厚生労働省ホームページ